



2012 IYCニュースレター

No. 20

～協同組合がよりよい社会を築きます～

発行：日本生協連 2012 国際協同組合年プロジェクト

2012年4月4日

国連が2012年を国際協同組合年（IYC）と宣言したことを受け、日本においても各協同組合の連携のもとIYC全国実行委員会が設置され、国際協同組合年に関する取り組みを進めています。各地でもIYC都道府県実行委員会をはじめ、協同組合間協同の取り組みが進められています。このニュースレターでは、IYC全国実行委員会や各地での取り組みなどをご紹介します。

1. IYC記念 5生協連合同「つながるっていいね！」エピソード募集企画 ツールご注文（応募用紙兼用チラシ・告知用ポスター）まもなく締切です！

「全国組合員活動速報」や「IYCニュースレターNo.18」でもご案内しています通り、5つの生協連（日本生協連・コープ共済連・医療福祉生協連・大学生協連・全労済）では、国際協同組合年記念「つながるっていいね！」エピソード募集企画を実施することとしました（実際の募集期間は6月1日～8月31日です）。

現在、ツール（応募用紙兼用チラシ・告知用ポスター）のご注文をお受けしております。4月10日締切予定ですので、積極的なご検討をお願いいたします。日本生協連「情報プラザ」掲載のツール申込書にてご発注ください。

2012国際協同組合年記念
**つながるっていいね！
エピソード募集**

日々のくらしのなかで出会った、人との「つながり」にまつわるエピソードを募集します。助け合っよかったこと、ふと気持ちが温かくなったことなど、たくさんの「つながるっていいね！」エピソードをお待ちしています！

入賞 **30名!**
*応募紙、抽選で300名に「つながるっていいね！」賞

文章の部門
絵の部門
応募期間：6/1(金)～8/31(金)

ご応募はWebでも受け付けています!
<http://episode.coop/>
「つながるっていいね!」検索

2012年は、国連が定めた「国際協同組合年」です。国際協同組合年をきっかけに、人々の「つながり」や「助け合い」など、生協が大切にしていることを、皆さんと一緒に共有していきたい。今回の「つながるっていいね!」エピソード募集は、そんなわたしたち生協の思いを広げる取り組みのひとつです。

【ツール】

- ・ 応募用紙兼用チラシ（A4両面。各生協1万枚まで無料、超える場合は1枚あたり3円）
 - ・ 告知用ポスター（A2。各生協50枚まで無料、超える場合は応相談）
- *いずれも、4月中旬には確定版データを日本生協連「情報プラザ」に掲載予定ですので、各生協にて直接印刷していただくことも可能となります。

おかげさまで多くの会員生協にて、総代会や、コープ会・組合員活動の場での応募用紙兼用チラシの配布、店頭・宅配チラシでの企画案内など、幅広い取り組み計画を立てていただいております。加えて、国際協同組合年や「協同」の価値を

社会的にPRする趣旨で、チラシを地域の公民館・学校・消費生活センターなどで配布いただくことや、他団体や行政と一緒に取り組む行事の際に配布いただくことなども積極的にご検討いただくようお願いいたします（本企画への各生協の取り組み予定につきましては、「全国組合員活動速報 No.005」をご参照ください。また、取り組み予定を日本生協連までご連絡いただいていない会員生協におかれましては、ご予約を日本生協連までお知らせください）。

＜本企画に関するお問い合わせ先＞

日本生協連 広報部 亀田・今永 TEL：03-5778-8106

日本生協連 組合員活動部 E-mail：kumikatsu@jccu.coop

2. IYC全国実行委員会では、学生向け取り組み(大学での協同組合論講座の設定の取り組み)を進めています

IYC全国実行委員会では、将来の協同組合の担い手となりうる学生に、協同組合への関心・認識を高めていただけるような取り組みを進めます。具体的には、大学での協同組合・非営利組織をテーマとする講座の設定および、講座への協同組合役職員のゲストスピーカー派遣などを進めています。IYC全国実行委員会として協力可能になった大学の講座などは、全国実行委員会のHPで概要を紹介していく予定です。現時点での協力講座は、以下のとおりです。

大学名	学部名	講座名	教官名	備考
埼玉県立大学	社会福祉学科	協同組合論	北昌司	4月～7月
協同組合の歴史と思想、価値と組織原則、協同組合の種類と事業・組織の実際、及び、国連が本年を協同組合年と定めたバックボーンと社会的期待、それに応えるための課題について、特に生活協同組合に焦点を当てて学びます。また、協同組合は非営利組織(NPO)ですが、様々な分野で活動しているNPOについて、分類と範囲及び法制度について学びます。そして、使命(ミッション)の構築とその現実化の大切さと、特に地域コミュニティ形成を焦点化して取り組んでいる連携事例について学びます。また、現場の実践に触れるためにゲストスピーカーを交えて展開します。				
駒澤大学	経済学部	「現代産業事情Ⅱ」(東日本大震災と日本の社会・経済)	百田義治	4月～7月
「東日本大震災と日本の社会・経済」をテーマとする連続講座に、農協・生協のゲストスピーカーが各1回参加し、各協同組合の震災復興の取り組み状況や、協同組合としての今後の役割発揮の在り方について講義を行います。				
駒澤大学	経済学部	協同組合論	山口浩平	4月～7月、15回
他の法人とは異なった独自の価値を持つ協同組合の実態と役割、その意義を理解し、各国における現状と課題を把握し、その現代的な姿を探ります。農協・漁協・生協などからのゲストスピーカーを交えて展開します。				

神奈川大学	法学部	消費生活行政 特論	小川泰子	4月～7月、15回
<p>講義の主要なテーマは、①非営利・協同セクターの現状とその広がり・将来性 ②社会保障制度と福祉政策から日本の生活経済と社会構造について考え、③幅広い領域から一線で活躍している活動家をゲストスピーカーに迎え、学生との出会いを創り、人と人のつながりの大切さを知り、④ネットワークを持つことが学生自身の問題や悩みを解決し、将来への可能性を引き出すということに気づいてもらうのがこの授業です。</p>				
神奈川大学	法学部自治行政学科	政治学特講Ⅱ 「現代社会と協同組合」	出口裕明	4月～7月、15回
<p>この講義では、①世界の協同組合運動が切り開いてきた成果を学ぶとともに、②生協を中心にした日本の協同組合の活動を広く検証し、③協同組合が今日の日本や地域の課題解決にどのような可能性を持っているのか、④地域の公共(新しい公共)をどのように担っていくのかなど、テーマごとのメイン講師により、協同組合の現代的意義を深めます(生活クラブ生協神奈川寄付講座)。</p>				
関西大学	大学院商学研究科	現代流通・国際ビジネス研究(1)	森宏之 山本邦雄 金子隆之	9月～、15回
<p>“協同、共生、助け合い”を理念とする日本と世界の生協の歴史・事業を学び、身近な大阪と奈良の生協の実践を学びながら、大震災からの復興と底の見えない経済不況の中でこれからの生協の役割を考えます。</p>				
同志社大学	商学部	「協同組合論一ひと・絆・社会連帯を求めて」	麻生潤(商学部) 名和又介(言語文化研究センター)	8月～9月(集中講義)、15回
<p>協同組合について、その存在意義、起源と歴史、現在の課題と将来展望を専門家の講義により紹介し、受講者とともに協同組合のあり方について考えます。 *同志社大学商学部の設置する専門科目として開設し、コンソーシアム京都の単位互換授業として展開します(全国大学生協連寄付講座)。</p>				
神戸大学	経済学部	協同組合論	滝川好夫	11月～1月、14回
<p>大学という学びの場で、これからの地域を担う若者を対象に協同組合論を開講します。農協・漁協・生協・労働金庫・信用金庫など、幅広いゲストスピーカーを招いて展開する予定です(全国大学生協連寄付講座)。</p>				

協同組合の認知度向上に向け、各地におかれましても、各協同組合や学識者らと連携し、地元の大学などで協同組合や非営利組織をテーマとする講座の設定等を進めていただくようお願いいたします(取り組み情報を以下連絡先までお寄せください)。

3. 佐賀県で『国際協同組合シンポジウム』が開催されました

3月25日に佐賀大学で、「アジアにおける協同組合の今日的役割」をテーマに、『国際協同組合シンポジウム』が開催されました。佐賀大学農学部と国際協同組合年(IYC)佐賀県実行委員会の共同主催で、生協やJA、漁連、森林組合の役職員を中心に185名の参加がありました。



シンポジウムでは、JA 佐賀中央会から我が国における JA 組織や農業の現状と課題、JA グループ佐賀のミャンマーでの農業

支援事業、佐賀県生協連から日本の生協の歴史と理念・事業や組織・震災復興支援などの社会的取組みについて、それぞれ報告がありました。

続いて、マダガスカル、スリランカ、バングラディシュ、インドネシア各国の大学講師や研究員から、自国における協同組合の現状や課題について日本語で報告がありました。

報告後、座長の佐賀大学白武農学部教授の進行で意見交流を行いました。意見交流では、アジアや自国での貧困の問題や、多国籍企業のグローバル化から人々のくらしや資源を守る上で、協同組合が果たすことのできる今日的な役割について、期待や反省の意見が多く出されました。

IYC 佐賀県実行委員会では、この秋に IYC 記念企画第2弾として、今度は家族で楽しめるような1日イベントを佐賀市内で開催する計画で、IYC のテーマ「協同組合がより良い社会を築きます」を社会へアピールしていく予定です。

<2012 IYC 佐賀県実行委員会について>

- ・構成9団体：JA グループ佐賀(中央会、信連、共済連、JA 佐賀)、漁連(信漁連、有明漁連、玄海漁連)、佐賀県森林組合連合会、佐賀県生協連
- ・実行委員長：JA 佐賀中央会 末次 豊春 専務
- ・顧問：佐賀大農学部白武教授、佐賀県生産者支援課長、佐賀県くらしの安全安心課長

～お願い～

IYCに関する取り組み情報・協同組合間協同の取り組み情報などを以下までお寄せください。また、各生協におかれましては、都道府県実行委員会の企画への参加や、生協独自の行事にIYCに関する紹介コーナーを設けることなどを是非ご検討ください。

< IYC関連のお問い合わせ先 >

日本生協連 国際部 小林

TEL : 03-5778-8103 FAX : 03-5778-8104

E-mail : iyc2012@jccu.coop